

『新耐震グレーゾーン木造住宅耐震診断』講習会（2025/3/7）

この度は講習後のアンケートへのご協力ありがとうございました。
多くのご意見いただきありがとうございました。主催者、講師ともに感謝いたしております。
アンケートにいただいておりました質問への回答をさせていただきます。

<感想・質問>

- ・もう少し具体的な内容と思っていましたがホームズ君の講習に近くなるのかな？
→具体的な内容は4月、5月の講習会にて開催を予定しております。
- ・劣化低減係数を0.7・0.85・1.0のいずれかにしたのは分類しやすくするためですか
→建築防災協会での説明ではお見込みの通りの説明がありました。
- ・導入部分としてグレーゾーンの勉強が実務上不可欠の説明はよくわかりました。
→ご理解深めていただけて幸いです。
- ・引き続きよろしく願いいたします。
→評価いただきありがとうございます。今後の励みとさせていただきます。
- ・進行が良い感じでした。説明頂いた3人の方たちは家族なのかな？と思いました。
→評価いただきありがとうございます。今後の励みとさせていただきます。
- ・大変参考になりました。
→評価いただきありがとうございます。今後の励みとさせていただきます。
- ・ある耐震診断の解説本で精密診断法の適用条件として、・アンカーボルトが設置されていること・横架材の接合部の仕様が羽子板ボルト同等以上の引張耐力を有することとありました。補強時にアンカーボルトを設置すれば診断評価の対象となるとありましたが、予算の関係でアンカーボルト設置できない場合は精密診断法は適用不可ということになりますか。同様に玉石基礎の場合、精密診断法は使えないということになりますか。
→そのような場合は接合部の改修が出来ていないということになりますので接合部ⅡまたはⅢⅣで診断することになりますので壁を増やした効果が薄くなります。
→診断自体は可能ですが玉石などの場合は限界耐力計算など別の診断方法をお勧めいたします。
- ・グレーゾーンの内容が確認できました。ありがとうございました。
→評価いただきありがとうございます。今後の励みとさせていただきます。

<次回以降の講習会のテーマの希望>

- ・実務としての、耐震診断と改修工事のポイントを講習いただきたいと思います。
→ありがとうございます 今後の運営の参考にさせていただきます。

- ・既存建物の増築の扱いなど、今回少し触れた話を掘り下げた講習等期待しています。
→ありがとうございます 今後の運営の参考にさせていただきます。
- ・◇平屋・2階建ての木造住宅の基礎の設計について。◇既存住宅の玄関土間・浴室部分の断熱改修工事の方法について。
→ありがとうございます 今後の運営の参考にさせていただきます。
- ・新築木造二階建ての計算ソフトの使い方。
→4月、5月に開催予定です。
- ・限界耐力計算のより詳細な計算内容など
→次年度開催を予定しております。
- ・許容応力度計算の解説など
→5月開催予定です。
- ・2025.04法改正の増築の扱いと、工事監理のポイント、完了検査に必要な写真など
→ありがとうございます 今後の運営の参考にさせていただきます。

<木造特別委員会へ期待する内容>

- ・継続してください。
 - ・業務で忙しい中、会員のためにいろいろ対応していただきありがとうございます。
 - ・意匠設計者が木造二階建ての許容応力度計算をできるように情報を発信して行ってほしいです。
 - ・木造に関する情報を県内外問わずに公開していただけるのは大変助かります。私の県ではこうした取り組みが少ない(あっても少し)ので今後も同様の取り組みを期待いたします。
- 多くのご評価ありがとうございます。期待に沿えるよう委員会として盛り上げていきたいと考えております。